

令和3年度 第5回 政策討論会 第三分科会

日時	令和3年11月19日（金）午前10時より
場所	第1委員会室
テーマ	「本市の自然保全エリアのあり方について」
出席者	○倉田賢一郎 烏野隆生 井舎英生 岩崎雅秋 米田貴志 鳥居宏次 岸田厚

※○副座長

政策討論会第4回で調査事項とされていた項目について以下の通り報告があった。

①インフラの確認について

まず給水区域と示された図を参照して頂きたい。今回、対象とする地域に隣接して、圧水のポンプ場があること、また、Cゾーンは、図面でも示されているように網掛けされた給水区域になっていることから、上水の利用が可能なエリアであることがわかった。

また、電力については、Cゾーンのほぼ中央部に黄色に塗られた三角形の地点へ、電線が伸びていた事もあり、一定の電力供給も可能ではないかと推測されます。

下水道（汚水）ですが、同事業の計画区域を示した図にありますように、赤色の実践が、下水道（汚水）管が布設されている事を示しており、薄いピンク色が事業計画区域を示している。この図からは、Cゾーンにおいて布設はされていないものの、将来的に接続可能な地域であるということになる。ちなみにCゾーンに隣接する高等学校も同様に、事業区域であるものの、布設されておらず、現在は浄化槽で対応されている。

また、当然のことながらCゾーン内も浄化槽での対応は可能である事から、インフラについては不可能なエリアではないということが判明した。

②Cゾーン活動拠点の考え方について

保全活用ビジョンに掲載されている活動拠点としてのイメージについて、市の考え方を伺ったところ、これまで申し上げたインフラを完備させたものを思い描いているようである。

※下水については浄化槽で対応。

野鳥観察や木工体験等々、コミュニティがとれる施設をイメージしているようである。ただ、賑わう施設としては、調整区域内という点を考慮しなければならないとも考えているようである。

③市有地と民地について

市有地と民地については、ほぼ2色に色分けされた図を配布することで報告とさせていただきます。

- ・アドベンチャーワールドにパンダの餌として提供している竹がエリア内にあるが、近くでグランピング等を行うことによる悪影響がないか懸念する。

- ・今後議論を進めるうえで現地視察が必要である。後日視察することとなる。

次回開催について

今回は令和3年12月22日開催予定となる